

第 68 回技術倫理協議会 議事録

1. 日 時：2017 年 4 月 3 日（月） 15:00～17:00

2. 場 所：東京理科大学 森戸記念館 第 2 会議室

3. 出席者（役職順/所属順、敬称略）

日高 邦彦（議長）、石川 孝重（副議長）、札野 順（幹事）、真木 康守（幹事）、
石橋 邦夫（幹事）、丸山 信（委員）、小林 政徳（委員）、夏 亘（委員）、
本間 重一（委員）、橋本 義平（委員）、中野 智仁（委員）、
三木 哲也（委員・アドバイザー）、吉開 範章（委員）、本間 弘一（委員）、
鶴原 稔也（オブザーバ）、山本 一彦（事務局）

4. 議題

- ①前回議事録(案)について（審議）
- ②委員の交代について（報告）
- ③倫理協議会 W e b 掲載実績（報告）
・各学協会イベント予告
- ④参考情報（報告）
- ⑤会員活動報告について（報告）
- ⑥次回第 69 回以降協議会日程について（再確認および決定）
- ⑦その他（講演、意見交換会）

5. 議事

①前回議事録案にて、議事内容の確認、審議を行い、原案は承認された。

②4/1 付 委員の交代の報告があった。

・機械学会：(堤 正臣) 委員から (小林 政徳) 委員へ交代。

③倫理協議会 W e b 掲載実績を報告した。

・5/15 に開催される日本技術士会主催の「第 9 回技術者倫理シンポジウム（科学技術の
進展と社会への影響～リスクにどう向き合うか～」の募集案内を新規掲載。

④参考情報として、科学技術振興機構（JST）の「研究公正ポータル」の紹介をした。

また、人工知能学会倫理委員会の「工知能学会倫理指針」の制定について紹介した。

⑤各学協会活動状況について、末尾の表の記載内容に基づき報告があった。

⑥次回第 69 回以降協議会日程について以下を決定した。

・次回、第 69 回協議会 5 月 24 日（水） 15:00～17:00 森戸記念会館第 2 会議室

・次々回、第 70 回協議会 7 月 25 日（火） 10:00～12:00 森戸記念会館第 2 会議室

⑦日本建築学会倫理委員会委員長である石川 副議長から、日本建築学会の倫理委員会活動の
紹介として、「倫理教育・教材に関する実態調査結果報告」と題して、ご講演をいただき、
意見交換を実施した。

第 68 回技術倫理協議会（2017 年 4 月 3 日）会員学協会活動報告

	学協会名	報告概要
1	電気学会	<p>1) 3月15日、電気学会全国大会（富山大）において倫理委員会公開シンポジウム（講演・パネル討論）を開催。学会員外を含め70名の参加。 テーマ：「自動運転社会の実現に向けた倫理的課題」 講師：大前氏（慶応大）、菅沼氏（金沢大）、樫見氏（金沢大） 伊藤氏（千葉大）、大来氏（金沢工大）</p> <p>2) 3月1日、技術者倫理フォーラム開催 テーマ：「コミュニケーション、エンジニアリングエンジニアリング倫理」：学会員外を含め29名の参加。</p> <p>3) 3月29日、倫理委員会後に定例講演会を実施 題目：「食品安全のためのリスク分析の考え方」 講師：瀬古 博子 氏 （公社）日本消費者生活アドバイザー・コンサルタント協会所属/内閣府食品安全衛生委員会事務局技術参与</p>
2	電子情報通信学会	<p>1) 2月22日に、倫理委員会を開催し、事例集の公表プロセスの確認、著作権の扱いについて議論。クリエイティブ・コモンズ・ライセンスの適用を前提に、学会内の同意を得る方向で調整することになった。</p> <p>2) 3月3・4日に、技術と社会・倫理研究会を、インターネット・アーキテクチャ研究会および情報処理研究会インターネット運用技術研究会と共催で、カルチャーリゾートフェストーネ（沖縄県宜野湾市）で開催し、1件の招待講演を含む40件の講演での発表&討論を実施した。</p>
3	土木学会	<p>3月27日開催「インフラメンテナンス国民会議・第1回市民参画フォーラムー協働コーディネータの知識と技を身に着けようー」（インフラメンテナンス国民会議主催：於、中央合同庁舎3号館4階国土交通省総合政策局局議室）を土木学会倫理社会規範委員会が協賛</p>
4	日本化学会	報告なし
5	日本機械学会	<p>技術倫理委員会を2月2日と3月23日開催し、以下の事項を検討・審議。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度日本機械学会年次大会の特別行事として、技術倫理のテーマとした市民対象行事を検討 ・技術倫理委員会のWEB発信記事を検討 ・日本機械学会倫理規定の英文化 ・日本機械学会倫理貢献賞の新設

6	日本技術士会	<p>倫理委員会を2/16に開催し、小委員会からの活動報告等を受け、以下の事項等を検討・審議。</p> <p>(1) 啓発小委員会：5月15日、学士会館で開催の「第9回技術者倫理シンポジウム」は、「科学技術の進展と社会への影響～リスクとどう向き合うか～」のテーマで3件の講演とパネル討議の予定。開催要領と開催案内パンフレットの内容等を確認。</p> <p>(2) 綱領小委員会：「技術士倫理綱領」の基本綱領（公正かつ誠実な実行）に「利益相反の事態回避」の文言追加の是非に関し、反映内容を前回に引き続き議論。</p> <p>(3) 情報小委員会：来年度の技術士全国大会（山口市で10月中旬開催）における「技術者倫理ワークショップ」の開催基本方針を確認。併せて、月刊『技術士』の10月以降の執筆計画を協議。</p> <p>(4) 倫理教育検討WG：以下の事項を議論・検討。</p> <p>日工教・技術者倫理調査研究委員会のモジュール型モデル・シラバスを参考に、主に技術士が講師を務める技術者倫理講座の教材の作成を検討している。今回のWGでは、これからの技術者倫理は予防を中心にした倫理から、元気が出る倫理として志向倫理（積極的倫理）を取り入れていく必要があるということで、志向倫理（積極的倫理）の在り方・展開等について議論。</p>
7	日本原子力学会	<p>1) 1/24、2/10、3/16に委員会を開催 倫理規定の改訂、原子力発電所再稼働を倫理の観点から検討、を主要な議題としている。</p> <p>2) 2/21に倫理研究会を開催した。学会が発行した事例集（東日本大震災での良好事例）によりケーススタディを行い、技術者倫理能力向上を目指した教育として扱う事例が、良好なものど失敗したものとはどのような違いがあるか。今後どのような教育方法が適切であるかを議論した。</p> <p>3) 3/27に原子力学会春の年会（東海大学）で企画セッション「原子力は未来技術たり得るか」を開催し、日本学術振興会先導的研究開発委員会（芹澤昭示、齊藤泰司）より「原子力が社会に受容されるに必要な技術」と「原子力の社会受容性向上に必要なと考えられる要件」の論点でこれからの原子力界における倫理の在り方を考究した。</p>
8	日本建築学会	<p>1) 倫理委員会（3月1日開催）において、倫理教育・教材に関する実態調査結果（アンケート）の報告。</p> <p>2) 2017年4月より会員証の裏に倫理綱領を記載。</p>

9	日本工学教育協会	1) 倫理綱領改訂に向けパブリックコメントは1件。 2) 第17回技術者倫理WS－効果的な教授法と新時代の技術者倫理教育－：2/3-4@東工大大岡山実施：講師6名＋グループ討議（有料参加18名） 3) 平成28年度研究倫理WS－研究倫理教育の現状と効果的教育法－：2/18@東工大大岡山実施：基調講演1件＋ラウンドテーブル＋ワークショップ（有料参加20名） 4) 科研費「高福利(well-being)型未来を牽引する技術者の教育」申請中
10	日本非破壊検査協会	活動しておりません。
11	日本マリンエンジニアリング学会	報告なし

以上